

横須賀市 e ラーニングシステム導入業務及び運用保守業務受託事業者選定 プロポーザル提案依頼書

1 事業背景と目的

今後、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、働く人のニーズ多様化、With コロナに対応した環境や働き方が求められています。本市においても、このような状況の中で職員の業務生産性向上と多様な人材育成が求められ、職員研修の内容と運営方法の見直しが課題となっています。その解決策として、e ラーニングシステム（以下「本システム」という。）の導入を行います。

2 事業概要

（1）本業務の対象範囲

本事業において実施する対象範囲は次の通りである。

ア システム設計・開発・構築

- ・プロジェクト管理
- ・要件定義
- ・システム設計
- ・システム開発（開発用環境は受託者が準備すること。）
- ・環境構築（運用環境、検証環境等の構築及び本市向け環境設定）
- ・システムテストの実施
- ・受入テスト及び運用テストの支援
- ・マスターデータのセットアップ
- ・導入移行支援（助言、作業補助、教育）
- ・本番稼働後のサポート

イ 運用・保守

- ・定常時運用
- ・障害時運用
- ・問合せ対応
- ・定期保守
- ・予防保守

（2）スケジュール

本システムの導入スケジュールは次の通りである。本市職員の負担や繁忙期を考慮し、受託者が適切なスケジュールを提案すること。

No	スケジュール	内容
1	令和3年6月下旬	仕様調整
2	令和3年7月上旬	契約締結
3	令和3年7月～令和3年8月中旬	環境構築セットアップ
4	令和3年7月～令和3年8月中旬	管理者教育
5	令和3年8月中旬～9月	設計、テスト、運用設計
6	令和3年10月上旬～	本番運用開始

3 提案方法

(1) 基本事項

提案書は以下を提出すること。なお、ア、イはそれぞれ整合した内容とすること。

ア 提案書

eラーニングシステム導入業務要求仕様書（以下「導入仕様書」という。）及びeラーニングシステム運用保守業務要求仕様書（以下「運用仕様書」という。）並びに本提案依頼書の「4 提案項目」を全て網羅した内容の提案を記したもの。

提案事項として求められている事項については、全て提案書に記載されること。

提案内容が、導入仕様書「第3章 業務要件」及び運用仕様書「第2章 運用保守要件」のどの事項に該当しているか、どのように適合しているかを記載すること。

イ 要件適合状況一覧表

各種要件に対する適合状況及び提案書の該当ページを記入したもの。

(2) 提案書作成における留意事項

- ・提案書が導入仕様書及び運用仕様書並びに本提案依頼書の「4 提案項目」を網羅していないなど、明らかな内容の欠落、不備が認められる場合又は要件適合状況一覧表において「必須項目（A及びB）」に区分されている要件について「×標準機能になし（対応不可）」の項目が1箇所以上ある場合は、その事業者を失格とする。
- ・要件適合状況一覧表において「C加点項目（あれば望ましい機能）」に区分されている要件について「◎標準機能にあり」、「○標準機能になし（運用で対応可）」、「△標準機能になし（要カスタマイズ）」、「□標準機能になし（要アドオン（追加開発））」の項目がある場合は、積極的に提案書に記載すること。

4 提案項目

提案書に記載が必要な項目は以下のとおりとする。なお、評価にあたっては全項目について網羅される必要があるので留意すること。また、導入仕様書及び運用仕様書に指定する項目を満たしたうえで、貴社が最適と考える提案を行うこと。

(1) 提案するシステムの説明

- ・提案に際して重視したポイント、方針を記載すること。
- ・提案するクラウドサービスの概要について、製品名、特長、本市への提案理由、国又は地方公共団体の利用実績等により説明すること。
- ・システムの全体構成を説明すること。

(2) 機能要件に対する提案

- ・本市が求める機能要件をどのように実現するのか、要件ごとに具体的に記載すること。制約事項がある場合には、その内容も記載すること。

(3) 非機能要件に対する提案

- ・本市が求める非機能要件をどのように実現するのか、要件ごとに具体的に記載すること。制約事項がある場合には、その内容も記載すること。
- ・システム全体のユーザーインターフェイスについて、ユーザに対する分かりやすさ、使いやすさへの配慮がどのようになされているか、画面レイアウトや操作フロー等を示しながら説明すること。
- ・機器やソフトウェアに不具合が生じた場合に、極力サービスのダウンタイムが生じないようにするため、冗長性の実現方法について説明すること。
- ・ユーザ登録の効率化について、年間 1,000 件以上の人事異動に伴う新規登録・変更・削除がある。これらの作業を効率的に行う方法について提案すること。
- ・ユーザ登録数とサービス利用料について、ID登録数に応じたサービス利用料を低減化する方法について提案すること。
- ・既成コンテンツの利用について、本市が作成するコンテンツ以外に、自由に利用できる既成コンテンツがある場合は（例：ビジネスマナー、行政法等のコンテンツ）、利用方法等を含め提案すること。
- ・システム運用開始に必要な期間（令和3年7月～9月末）について、セットアップ処理に必要と考える日数と工程を提案すること。また、スケジュールを短縮して稼働開始時期を早めることが可能である場合は、そのスケジュール案、具体的な方法を提示すること

(4) 教育に対する提案

- ・操作等に関する教育について、導入仕様書の要件を踏まえたうえで本市に最適な方法を提案すること。

(5) 導入移行支援に対する提案

- ・導入仕様書の要件を踏まえたうえで本市に最適な方法を提案すること。

（６）導入・運用に対する提案

- ・初めて e ラーニングを導入するにあたり、既存コンテンツの移行手順や運用イメージをわかりやすく示すこと。（必要な場合はコンテンツのサンプルを提供します。提供した資料は、本提案以外の目的で使用しないでください。）
- ・ユーザによるシステム活用促進の方法について提案すること。

（７）その他自由提案

- ・記載要件以外で、人材育成の実効性を高める仕組み等があれば提案すること。